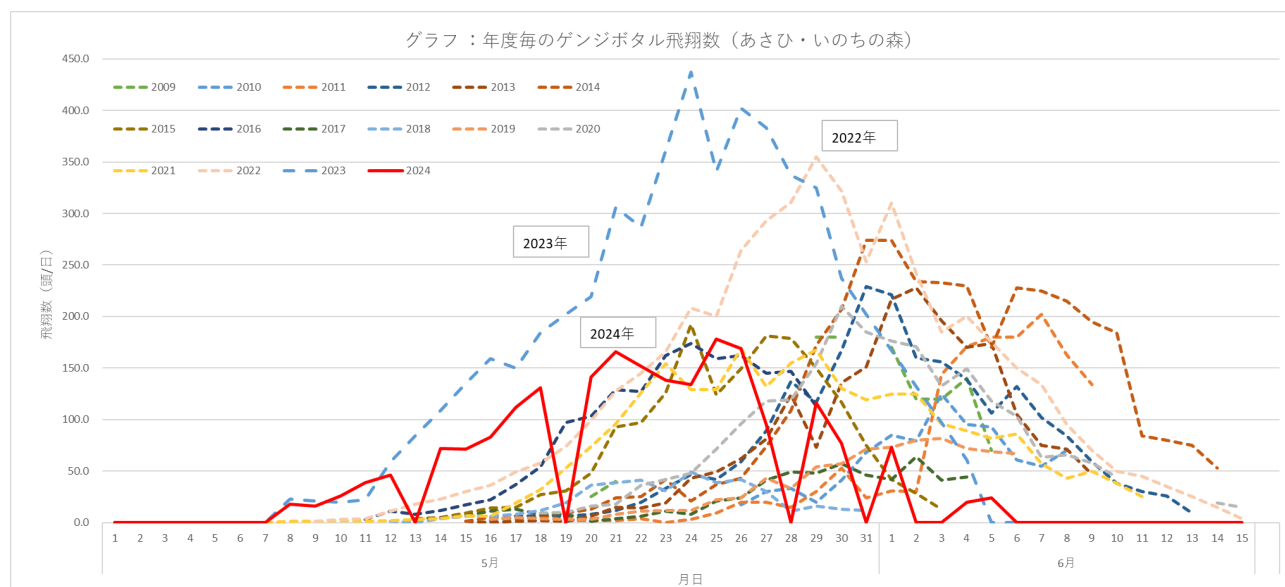
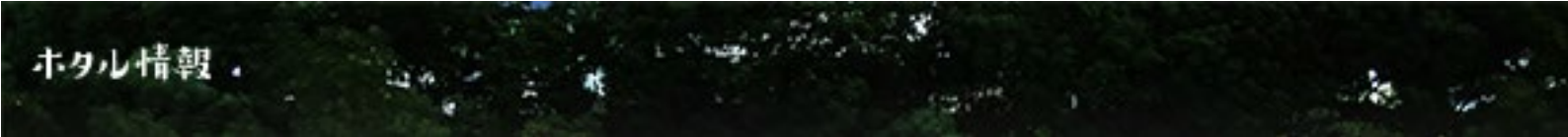


ホタルまつり

例年、5月下旬～6月上旬、あさひ・いのちの森で「旭化成ホタルまつり」が開催され数千名の来場者で賑わう地域の一大行事となっています。

下図は成虫の飛翔数の推移です。毎晩、観測を行っています。



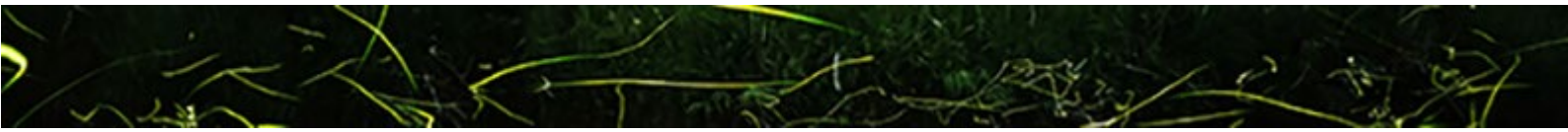


ホタルまつり来場者

年	来場者（人）	備考
2008年	2,520	7日間
2009年	1,781	3日間
2010年	3,290	3日間
2011年	3,024	2日間
2012年	3,986	3日間
2013年	3,010	2日間
2014年	3,988	3日間
2015年	3,652	3日間
2016年	3,100	3日間
2017年	0	中止（発育不良）
2018年	2,350	3日間
2019年	0	中止（ピーク日予想困難）
2020年	0	中止（コロナ禍対応）
2021年	514	2日間(社員と同居家族) TV撮影
2022年	603	4日間(社員と同居家族) TV撮影
2023年	925	5日間1日は雨天中止(社員と同居家族)
2024年	748	5日間で2日は雨天中止(社員と同居家族)



「あさひ・いのちの森」の
ゲンジボタル



ホタルまつりのリーフレットです。三つ折りです。
上図が外側、下図が内側になります。

あさひ・いのちの森

～多様な生を育むいのちの揺りかご～

「あさひ・いのちの森」は、富士支社が位置する富士市の田子浦の地域の生き物とその生態系の保全を目指すエコトープ〔生息空間〕です。富士川下流域の原風景の再生を目指しています。



いのちの森に生息する生き物たち

いのちの森ではホタル以外にも様々な場所で様々な種類が生息しています。



カブトムシ アゲハ蝶 オケラ アマガエル カルガモ
カワセミ シジュウカラ ヤマトンボ ナナホシテントウ ゲンゴロウ

ホタルの一生はわずか1年

ホタルは一生のほとんどを、水の中と暗い土の中で過ごします。成虫になって外で生きられるのは約1週間。その間、水しか飲みません。腹部が発光するのは、オスの発光にメスが発光で答える求愛行動です。



いのちの森ではゲンジボタルとヘイケボタルが見られます。

ゲンジボタル

ニホンで見られる蛍の中で最も大きい。発光は強く点滅します。

ヘイケボタル

近年その生息数が激減している種類。発光は弱めで、揺れるような光。



FIREFLYERS INTERNATIONAL NETWORK

fireflyers international networkは2007年設立、ホタルの科学者と愛好家による世界的な団体です。旭化成富士支社はFINとコラボレーションをして活動しています。 <https://fireflyersinternational.net/>

AsahiKASEI

ほたる祭り

旭化成株式会社 富士支社



観賞する時のマナー

- ・照らさない。
- ・走らない。
- ・持ち帰らない。
- ・道を外れない。
- ・大声を出さない。